



皆さんと一緒に考え提案します

# 斎藤竜一の7つの政策

1

## 子育て支援事業の推進

渋谷区子育てニューボラを拠点として、渋谷区独自の子育て支援環境を推進します  
待機児童対策を継続し、質の高い保育環境を整備します

2

## 家庭・学校・地域の中で心身ともに健全な教育の推進

未来につながるICT・英語教育を推進します

3

## 高齢者やハンディキャップがある人も安心して暮らせる環境づくりの推進

人生100年時代をみすえ介護予防事業を推進します

4

## 自然や環境に優しい街づくりの推進

防犯につながる、地域美化活動を推進します  
プラスチック製品の削減や再資源化に取り組みます

5

## 震災などの都市型災害と地域犯罪対策の推進

地域の防災訓練など、ご近所の顔が見えるコミュニティを創造していきます  
防犯カメラなどを拡充し、安全・安心な生活環境を構築します

6

## 活気ある商店街振興策の推進

キャッシュレス決済端末、観光WiFi環境の整備を拡充します

7

## 地域コミュニティ施設整備の推進

区内のあらゆる資源を活用し、福祉・子育ての拠点などコミュニティ施設を整備します



渋谷区議会議員 斎藤竜一 事務所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-3  
TEL. 03(5333)6735 FAX. 03(5333)6782 mapleryu@pe.catv.ne.jp

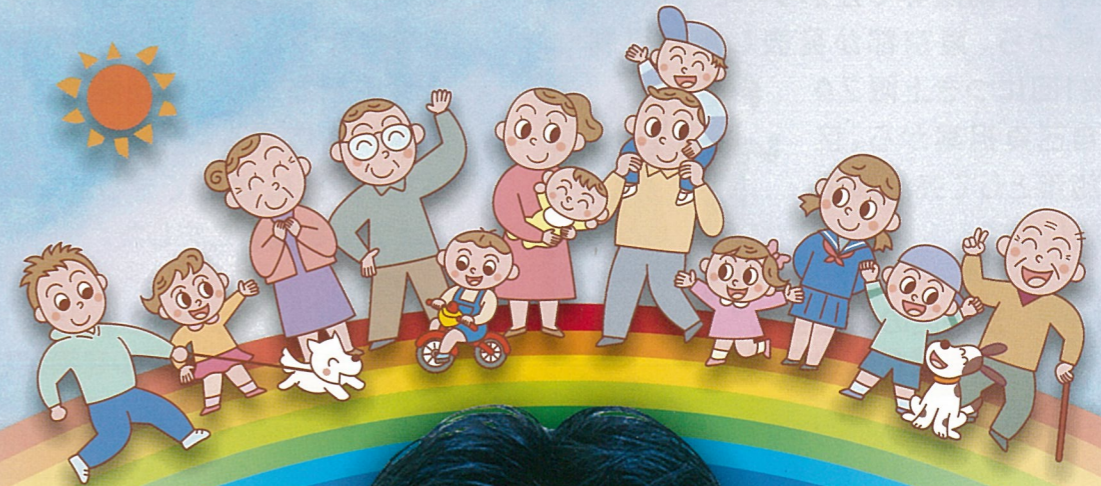


討議資料

あなたの一番近くの行政

# 渋谷区 暮らしのお手伝い

渋谷区政報告 第4回定例会特集号



渋谷区議会議員

# 斎藤竜一

自民党

# 第4回区議会定例会

## 区民福祉の増進のために自民党議員団は実現します



### 高校生医療無償化

令和5年4月より、高校生（18歳になる年の年度末）まで医療費無償化が拡大されます。渋谷区をはじめとする23特別区は、「産み育てやすい東京をつくる観点から医療費の助成は所得制限等で差別すべきでない」との主張から、東京都が発表した所得制限、通院1回につき上限200円の自己負担案から、区の独自施策として完全無償化を実施します。



渋谷区の高校生は医療費が完全無償化

### 防災対策

近年、高層マンション（タワーマンション）が増えたことなどで、エレベーターの停止でマンション自体が「陸の孤島」となる懸念が表面化しています。このエレベーター停止の長期化で、住民が孤立しトイレも長時間利用できないなど、住宅避難が行き詰まる集合住宅特有のリスクが懸念されます。この問題に対応する為「タワマン防災」、「集合住宅防災」に対応できるマンション防災マニュアルを提言しました。



マンション防災マニュアルを策定します

### デジタル教科書

文部科学省はデジタル教科書について、2024年度から小学5年～中学3年の英語で先行導入し、25年度には「算数・数学」にも広げる方針を決めました。しかし、読解力を付けるには画面上の文章を読むより紙媒体を使う方が効果的とする意見も根強くあり、紙とデジタルの役割分担はどうあるべきなのか、教科や学年を絞って段階的に進めるべきと考えます。長所と短所を見極めて、効果を確認しつつステップアップするべきと提言しました。



教科書の紙とデジタルの長所を見極めます

### 産後パパ育休

「産み・育てやすい街 渋谷」を目指して、産休が更に利用しやすくなる、出生時育児休業制度（産後パパ育休）が強化されます。夫婦が育休を交代で取得しやすく、円滑な職場復帰につながると期待され、出生後8週間以内に4週間までの休暇を取得できるというもので、2回に分けて分割取得することもできます。休業中は、育児休業給付金が支給され、育児休業中は社会保険料が免除されます。



次世代育成支援計画を推進します

### 安全対策

渋谷のハロウィーンでは、イテウオンの事故の直後ということもあり、地元自治体として、事前に飲酒の自粛や節度ある行動を呼びかけるとともに、多くの警備員を導入した結果、大きな事故もなく終わることが出来ました。しかし、安全対策推進経費として1億円を超える補正予算（内、警備費用として9千万円程度）が必要となり、今後は効率的効果的な警備の実施や人流予測技術の活用検討などで、区民負担の軽減を図るように提言しました。



経費軽減の努力をしながらも安全安心の確保に努めます

### 高齢者デジタルデバインド

スマートフォンの無償貸与事業では、端末の貸与は2年間で終了し、使用中の電話番号は引き継げなくなっております。来年8月、実証事業終了後、せっかく慣れたスマートフォンを返却せざるを得ないとしても、これまで通り使用できるように、自身で端末購入をする際の補助や、使用していたアプリケーションの新端末への移行サポート等、継続のための施策を提言しました。



「なんでもスマホ教室」「スマホサロン」は継続します

### 特色ある学校

区立中学校の特色ある学校づくりは、「英語教育重点校」「教科教室型中学校」「理数教育重点校」「スポーツ等部活動強化校」「グローバル人材育成重点校」「ICT教育推進校」と地域特性を生かした教育活動に取り組んでいます。しかしながら、特色の内容や成果の見え方に差があり、外部に分かりにくいことから、保護者や地域に対しても魅力ある学校としての可視化推進を提言しました。



区立中学校の特色を理解していただける努力を致します

### 小中一貫校

「新しい学校づくり」整備方針では、令和13年度に猿樂小学校と鉢山中学校、原宿外苑中学校と千駄谷小学校が、令和20年度に笹塚小学校と笹塚中学校が、それぞれ新校舎で小中一貫教育校となる予定となっています。渋谷区初の小中一貫校、渋谷本町学園での実績を踏まえ、今後3校の計画をしっかりと進めるために、今の段階から関係校の保護者や地域の方々に丁寧な説明をし、理解と共感を得ていくことが重要であると提言しました。



小中一貫校の実績を踏まえた学校づくりに取り組みます

